

P&C 通信

発行：(非営利活動法人)

プラチナ&チャレンジド人財センター

住所：兵庫県加古郡稲美町国安 1123

Tel. 079-492-6764 Fax . 079-492-6838

スタッフと訓練メニューを強化

総務・生産部門経験者3名がスタッフに、給湯機分解は部品から完成品にバージョンアップ

昨年9月にスタートした就労支援事業の基盤強化を目指し、昨年11月に1名、今年6月より2名のスタッフを加えました。また、これまで訓練の教材としてきた緩衝材のアイテムを拡大、更にこれまでは給湯器の部品レベルからであった分解を、完成品からの分解を行えるように設備を追加・改善しました。

新たにスタッフに加わったのはノーリツのグループ会社で総務部門に従事してきた松

田さんと、ノーリツの協力会社で長らく生産部門に従事してきた石田さんと米村さん。事業の基盤となる訓練場において、石田さんは訓練設備の開発や改善を行い、米村さんは終日作業場で訓練生をきめ細やかに指導します。

これに伴い清田理事長と北川監事は営業、竹端理事と石田さんが研修設備とメニュー開発、山本理事と松田さんが総務関連の業務を担当します。エスコアハーツの責任者を兼務する板敷理事は、P&C とノーリツグループとのパイプ役を担います。

スタッフの強化に加え、訓練メニューの開発も進んでいます、これまで訓練の教材として行ってきた「出荷用緩衝材の生産」では、不要となった



左より石田、板敷、山本、米村、松田、竹端、清田、北川

廃却紙のチップを使用していましたが、新たに不要となった段ボールやスポンジを活用した緩衝



左より廃却紙、段ボール、スポンジの緩衝材

材も教材として取り込むことになりました。これら3タイプの緩衝材作りは設備や生産工程が異なり、訓練生は多彩な技能を訓練できますし、納期・品質への責任感も養成することができます。

給湯機の分解・分別設備が完成

訓練用教材のもう一つのアイテムである給湯機の分解・分別は、これまで水メカやガスメカ等の部品ブロックが対象でしたが、訓練生がより高いレベルの能力向上を図れるように「使用済み給湯機の完成品」を対象にできるよう設備を改善しました。



エアドライバーを装備した給湯機の分解設備

給湯機本体は最初に外装カバーを取り外し、コード類、水とガスの配管を外した後、バーナ・缶体ブロック、水メカ、ガスメカの部品ブロックを取り出します。



各部品ブロックは専用の作業台で分解します。細かく分解された部品は、材質別に準備されたドラム缶や棚上に置かれたケースに分別していきます。いかに確実に分別されているかが、一番重要なポイントになります。

平成 22 年度通常総会を開催

今年2月21日にはP&Cの平成22年度通常総会がノーリツ土山工場で行われました。株式会社と同様に、NPO法人も年一回総会を開催することが法律で義務付けられています。

総会には法人会員のノーリツ、エスコア、エスコアハーツ、ノーリツ労働組合と個人会員9名の全会員が出席しました。

清田理事長は就労移行支援事業を開始した昨年9月以降の事業報告、決算報告を行った。事業報告では特別支援学校やハローワークの紹介を受け5名の利用者が入所したが、うち1名は途中より出所拒否で長期休暇だったことをあげ、福祉問題の難しさを痛感したと述べました。

23年度の事業計画については、常時7～8名に利用者を拡大し、利用者の就労は年間2～3名を目指すことと、スタッフの強化と研修メニューを充実していくと決意を込めて発表しました。



ノーリツを代表し小関経営企画室長は就労移行支援事業を成功させるためにも、「企業にとって障がい者雇用を行うことのメリットを明確化してほしい」との意見が出されました。

事業計画案の他、今年度の予算案、理事及び監事の選任案は全て全会一致で承認されました。